

4. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

<生命科学部分子生命化学科>（認定課程：中一種免（理科）・高一種免（理科））

（1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	一社会人として常識的な考えや活動が遂行できる基礎を構築するとともに、自分が教員として社会にどのように還元したいかを考えさせ、将来の目標を明確にする。さらに、理科の基礎的な科目を中心とした基礎的素養を身に付け、中等教育から高度な大学レベルの理科的知識を身に付けるための基本的能力を涵養する。 入学ガイダンス時に教職課程関連資料配布及び説明、4月教職説明会にて「教職課程履修案内」を配布し、教職課程履修に係る意欲向上を目指す。
	後期	教職課程科目を配置し、教員としての基盤を形成させつつ、「教育」に対して個人の考えでなく、理論の積み重ねと行動力により物事を進める現実を十分に理解させるとともに、該当中心年齢だけでなく、幅広い年齢層、性格、行動の理解、補助できる能力を身に着ける。さらに、理科の基礎的な科目を中心とした幅広い素養を身に付け、中等教育から高度な大学レベルの理科的知識を身に付けるための基本的能力を涵養する。また、基礎的な実験科目を通じた実験技術を身に付ける。 履修カルテ配布による指導を実施し、教育者に求められる資質や能力についての確認および理解を目指す。
2年次	前期	1年次に続き、教育論をより高度に学び教育者としての理解を深める。さらに、この段階において厳密な学としての科学を具体例を持って体現することで、中等教育の性格を理解させる。基礎的知識から専門への橋渡しとなる講義科目および実験科目を配置し、1年次に身に付けた基本的能力に基づき、より深化した理科的素養を身に付ける。また、中学理科で扱われる内容およびそれらの具体的な指導法について学び、実際に学習指導案を作成し、模擬授業を行うことで、自らの指導法における課題を明確化する。 現職、元教員による講義、講演会、学校ボランティアに参加することで、教育現場の現状に関する理解を目指す。
	後期	学生に対する具体的な対応能力の向上を目的として各種教育指導論を配置し、教科科目として、1、2年次講義科目の知識・思考法の統合化を計るとともに、理科的知識や実験技術の授業における具体的な導入や展開方法を考え、そのための教材作成や教材研究を通じて、中学理科の教育法について理解を深める。また、3年次より開始される専門に特化した講義への準備を行い、1つの事象を数式、化学構造式で同時に表現可能であり、かつ学んだ科学の体系の中でどのような位置をしめるかを理解させる。より深化した理科的能力を活用する実験科目を通じて応用的な実験科目に対応できる能力を身に付ける。
3年次	前期	教育専門性を高めるとともに、多様な学生に対して人としての考えや行動を伝える能力向上を目指す。さらに、教科科目として、2年次より専門性および応用性が高い科目を配置し、具体的目的への展開力を養成する。卒業論文研究を行うための基本的な考え方を学び、科学の営みとは何かを通じて理科教員として教育すべき科学の過去から現在までを俯瞰する能力を身に付ける。 教育実習指導の充実により、学習指導案の作成等、具体的な授業運営、校務分掌についての理解を目指す。
	後期	自然や身のまわりの事物・現象に対する関心や探究力を高め、目的意識をもって観察、実験などを行う姿勢を育成する。教育実習などを見据えて、理科教員の講義や講演会、各種ガイダンスなどに参加することで、自らの課題、目標設定の確認と教員として必要な資質能力形成を目指す。さらに、応用的な実験科目を配置し、教育に必要な基盤となる実験技術の習得に努めるとともに、応用的な講義科目を通じて、学問体系としての理科に関する総合的な能力を身に付ける。
4年次	前期	教育実習に向けた教材研究を通じて、理科的知識の復習および授業計画となる学習指導案の作成とそれに基づいた模擬授業を行い、授業運営について理解を深める。教育実習において、教職現場を体験するとともに教員として必要な資質・能力を育成する。適宜、現場教員と教職課程教員や事務員による的確なサポートを行い、学生にフィードバックすることで、不足している知識や技能等を補う。さらに、「卒業論文」のための実験を開始し、その過程で理解力、調査能力、計画能力、実験能力（実行力）、考察力など各種能力の向上に努める。
	後期	4年次前期に続き卒業論文研究を遂行し、最先端の科学に関する意識を涵養する。卒業論文の作成を通じて科学の営みを体現し、科学的な表現方法、プレゼンテーションの能力を身に付ける。 教職課程におけるこれまでの学びの集大成を行うとともに、理科教員に求められる資質と能力に必要な科学的に探究する能力と態度を育成する。卒業論文を通じて得た最新知見を活用した独創性のある教材研究やそれら知見を活用した教育法の修得を目指す。